

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成28年7月7日(2016.7.7)

【公開番号】特開2016-96160(P2016-96160A)

【公開日】平成28年5月26日(2016.5.26)

【年通号数】公開・登録公報2016-032

【出願番号】特願2016-32641(P2016-32641)

【国際特許分類】

H 05 B 6/12 (2006.01)

A 47 J 37/06 (2006.01)

F 24 C 7/06 (2006.01)

【F I】

H 05 B 6/12 3 1 4

A 47 J 37/06 3 7 1

F 24 C 7/06 A

【手続補正書】

【提出日】平成28年4月15日(2016.4.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

調理物を加熱する加熱空間内に配置され外部に取り出し可能な発熱体と、

前記発熱体の下方に設けられ前記発熱体を加熱する誘導加熱コイルと、を備え、

前記発熱体は、

磁性体とされる平板状の本体部と、

前記本体部に形成された長尺状の複数の開口部と、

前記開口部の長手方向に隣接する前記開口部間に設けられ前記本体部の中心部分から外周に向かって延出する繋ぎ部と、を有している、

加熱調理器。

【請求項2】

前記発熱体は、前記誘導加熱コイルより大きい、

請求項1記載の加熱調理器。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

実施形態の加熱調理器は、調理物を加熱する加熱空間内に配置され外部に取り出し可能な発熱体と、前記発熱体の下方に設けられ前記発熱体を加熱する誘導加熱コイルと、を備える。前記発熱体は、磁性体とされる平板状の本体部と、前記本体部に形成された長尺状の複数の開口部と、前記開口部の長手方向に隣接する前記開口部間に設けられ前記本体部の中心部分から外周に向かって延出する繋ぎ部と、を有している。